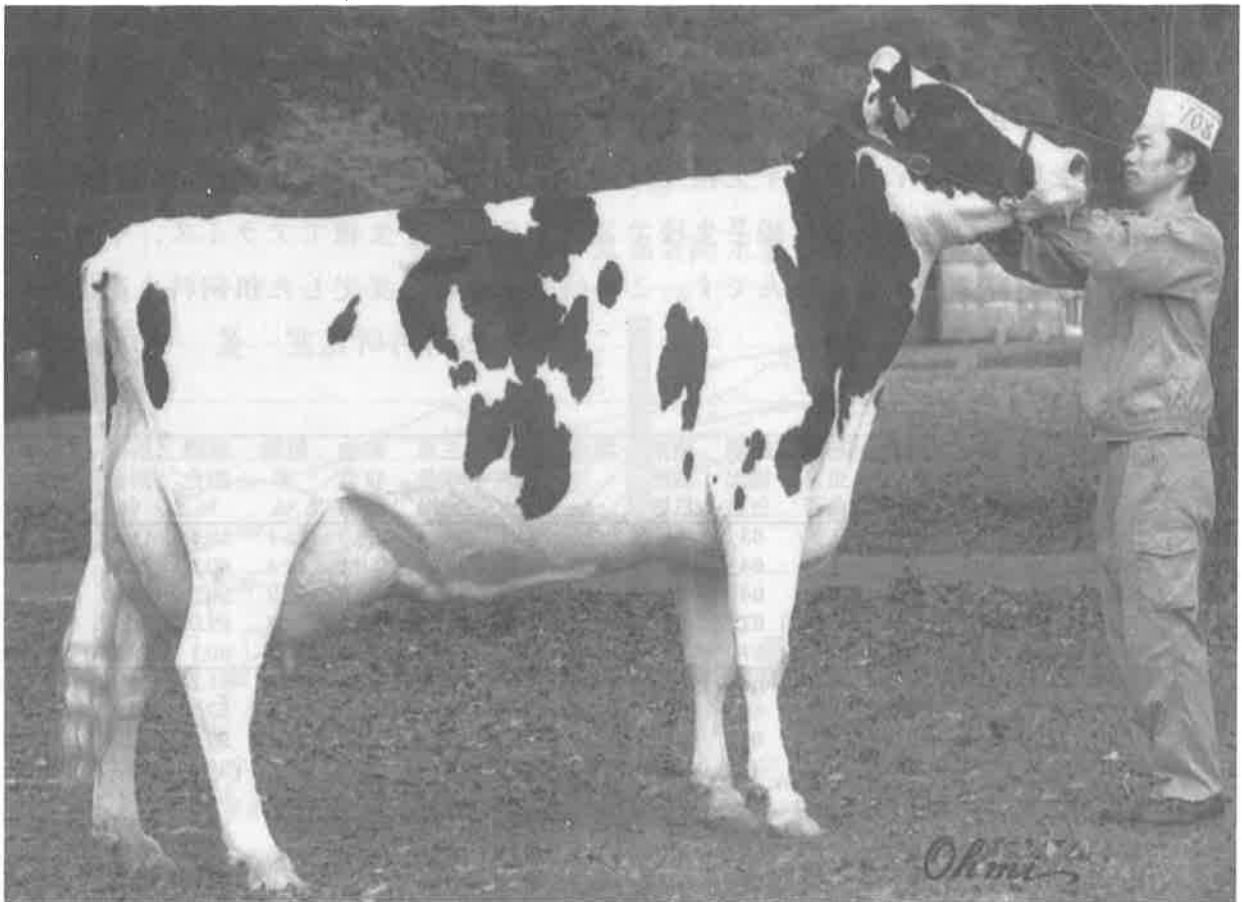


# 酪農試験場だより

No. 106

県ホル共進会で酪試出品牛が「ベスト・アグ・賞」受賞！



平成14年10月5日(土)に酪農試験場で開催された栃木県ホルスタイン共進会において、当試験場の「マロエルクリス ET」号が、ベスト・アグー賞を受賞しました。今後も、県の模範となるような牛群の飼養管理に努めてまいります！

- 1 平成14年度トウモロコシ品種選定試験について
- 2 平成14年産トウモロコシの収量は平年並み？  
(昨年の飼料用トウモロコシの生育をふりかえって)

# 平成14年度トウモロコシ品種選定試験について

昨年は、8月19、20日の台風13号の太平洋岸通過に伴う強風や10月1日の台風21号通過による倒伏や折損等の影響で、粗飼料生産に多大な被害が発生したと思えます。本試験場でも同様に影響を受けましたが、今回、平成14年度のトウモロコシ品種選定試験結果を報告します。

試験期間中の気象状況は、気温は7月から8月上旬にかけて平年よりかなり高かったですが、5月中旬、6月下旬は平年より低かったです。降水量は、7月にかなり多く、それ以外は平年並みでした。

結果について、出芽良否はユメソダチを除いてすべての品種で良好でした。稈長は、極早生で36A43、早生種でSH2724、中晩生でSH0800が高かったです。乾物収量は極早生種で35Y65、早生種でKD670、中晩生種で31N27が多かったです。折損及び倒伏の発生割合は極早生種で35Y65、早生種でアラミス、中晩生種でKD720、31N27が低かったです。この結果を参考に安定した粗飼料生産に努めてください。

(草地飼料研究室 星 一美)

## 生育収量結果

品種	系統名	相対熟度	出芽良否	初期生育良否	雄穂抽出日数	絹糸抽出日数	稈長 cm	着雌穂高 cm	生草収量 kg/a	乾物収量 kg/a	乾物率 %	雌穂割合 %	折損割合 %	倒伏割合 %	刈取時熟度
極早生	DK483	100	9.0	5.0	63	64	232.8	94.1	388.4	136.3	35.1	59.1	11.4		黄・後
	36A43	102	9.0	4.5	64	65	261.0	123.1	401.6	150.1	37.4	60.1	28.9		黄・中
	NS105 ◎	105	8.7	3.5	64	65	259.2	106.6	329.5	122.6	37.2	59.5	20.0		黄・後
	35Y65	108	8.7	5.0	67	67	239.0	100.8	467.5	153.1	32.7	62.0	4.8		黄・中
	DK567 ○	110	8.3	4.0	67	67	251.1	104.1	475.9	149.9	31.5	60.1	15.9		黄・前
早生	34N43 *	110	9.0	4.0	67	68	244.9	106.6	417.2	146.8	35.2	61.2	14.0		黄・中
	KD620	112	9.0	4.0	68	70	281.2	122.9	491.3	142.8	29.1	57.9	13.3		黄・中
	NS68 ◎	113	9.0	4.0	69	72	280.5	118.3	451.0	163.3	36.2	54.4	8.9	6.7	黄・中
	KD640	114	9.0	4.0	70	72	284.0	124.6	417.4	152.9	36.6	58.3	13.3		黄・中
	アラミス	115	8.7	4.0	67	71	263.1	131.3	445.6	148.8	33.4	58.7	6.7		黄・後
	ナスホマレ △	115	9.0	5.0	67	68	273.6	117.9	417.2	143.4	34.4	58.4	15.9	10.2	黄・前
	SH2608 *	115	9.0	5.0	68	68	259.1	127.8	373.6	140.0	37.5	58.9	16.7	6.7	黄・後
	KD670 ○	117	9.0	3.5	71	71	289.6	157.0	607.8	175.1	28.8	53.9	33.3	13.3	黄・中
	SH2724 *	118	9.0	5.0	70	70	292.3	134.6	448.9	159.2	35.5	57.6	6.7	6.7	黄・中
	DK727	120	9.0	4.0	69	71	287.0	126.2	512.2	158.7	31.0	56.4	11.1		黄・中
	ZX7605	120	8.7	4.5	71	73	288.1	142.1	450.4	134.7	29.9	50.0	44.2		黄・前
	ユメソダチ △	125	7.7	4.5	70	73	280.6	140.2	479.5	147.0	30.7	57.3	38.6	11.4	黄・前
中晩生	ナスホマレ △	115	8.0	4.7	80	81	252.8	119.1	472.0	166.5	35.3	53.1	4.4		完・前
	ZX7605	120	8.0	4.7	86	88	269.9	142.2	599.5	190.9	31.8	56.4	11.9		黄・中
	32K61 ○	122	8.7	3.0	85	87	271.2	122.7	450.4	159.7	35.5	58.2	6.7		黄・後
	KD720	122	8.7	3.7	85	87	256.4	124.1	562.1	171.7	30.6	54.8	4.4		黄・後
	DK697	123	9.0	2.7	87	89	271.4	133.8	421.6	152.4	36.1	58.8	20.0		黄・後
	NS89A	123	9.0	2.7	86	89	269.8	118.6	513.2	157.7	30.7	51.6	6.7		糊・後
	31N27	125	9.0	2.7	86	87	260.6	125.4	601.9	200.2	33.3	57.2	4.4		黄・中
	DK740	125	9.0	3.0	87	88	283.6	130.5	398.2	175.2	44.0	56.6	35.6		黄・前
	ZX8872	125	8.0	3.7	87	89	272.6	144.7	499.7	172.8	34.6	60.0	22.7		黄・中
	ユメソダチ △	125	7.7	3.7	85	88	263.0	130.3	416.6	152.3	36.6	61.6	29.5		黄・前
	SH0800 ○	127	9.0	4.3	88	90	295.8	136.2	498.1	169.9	34.1	57.0	17.8		黄・前
	NS91X	127	8.0	3.3	88	90	262.9	124.3	509.9	151.2	29.7	49.1	22.7		黄・前

◎奨励品種 ○認定品種 △基準品種 \*H15新発売品種

極早生種:5月22日播種、9月4日刈取 早生種:5月22日播種、9月12日刈取 中晩生種:4月24日播種、9月2日刈取  
出芽良否:1極不良~9極良 初期生育良否:1不良~5良 折損及び倒伏割合:調査区内の各割合、空欄は無

# 平成14年産トウモロコシの収量は平年並み？

～昨年の飼料用トウモロコシの生育をふりかえって～

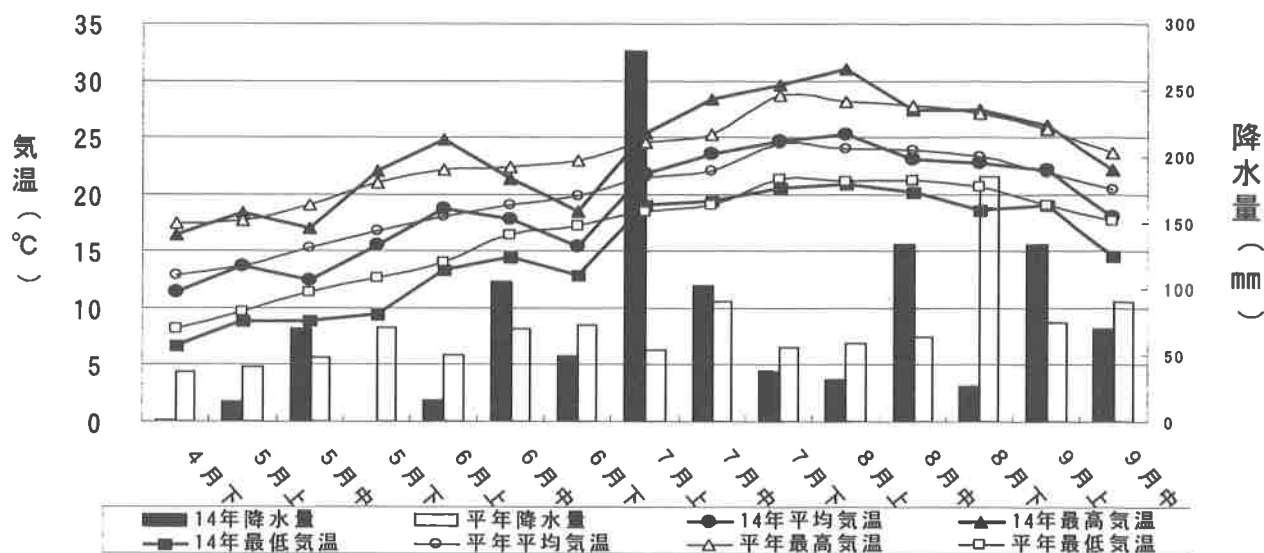
## 1) 平成14年気象経過 (酪試)

トウモロコシ生育期間の気象の特徴をふり返ってみますと、播種期間の4月下旬～6月上旬までの気温は平年並み～やや低く経過しました。6月11日に梅雨入りした後、降水量は平年より多く、特に7月9～11日の台風6号による降雨は約330mmに達しました。また、気温も『梅雨寒』でやや低めに推移し、特に6月下旬には平年をかなり下まわりました。

7月20日の梅雨明け前後からは晴天が続き、気温も平年より高く推移しました。

その後も高温多照は続きましたが、8月中旬になると気温は平年並みとなり、8月20日には台風13号の影響で倒伏・折損が進みました。

平成14年 気温と降水量 (酪試)



## 2) 飼料用トウモロコシの生育経過

昨年の収穫時は、『今年は去年よりコーンハーベスターの走りが早い！ 反収があがらないな？』と感じられたことと思います。平成14年のトウモロコシは、6～7月の気温が高かった平成13年より絹糸抽出期が5～6日程度遅れ、稈長・着穂高が短く、葉面積も少なめ、葉齢がやや多めの緩慢な生育経過となりました。したがって茎葉乾物収量が13年と比べて4月下旬播種で82%、5月中旬播種で56%、6月上旬播種で73% (3品種平均；以下同様) と減少しました。

さらに、登熟後期の台風により倒伏が進んだこと、登熟期間の温度が平年並みに推移したことで、やや低温傾向でじっくり登熟した平成13年と比べて、実や茎葉の枯れあがり早く、子実の乾物収量も平成13年と比べて減少しました。

最終的な全乾物収量は13年と比べて4月下旬播種で90%、5月中旬播種で66%、6月上旬播種で78%と減収しました。ただし、平成13年は豊作であり、平成12年と比べると、どの播種期もほぼ同じ反収でした。

酪農試験場では、乾物収量に関する過去3年間のデータを蓄積し、気象との関係を解析しています。台風による倒伏を回避し、トウモロコシによる反収を高位に安定させるには、県北地域においては4月下旬頃の播種が適していると思われます。

反収も、4月下旬播種は6月上旬播種と比べて、乾物重で250～450kg/10a多い傾向です(3カ年・3品種平均)。これらのデータを参考に、冬作物の作付や堆肥の投入を踏まえて、適切なトウモロコシの播種時期や品種(RM)を設定していただければと思います。

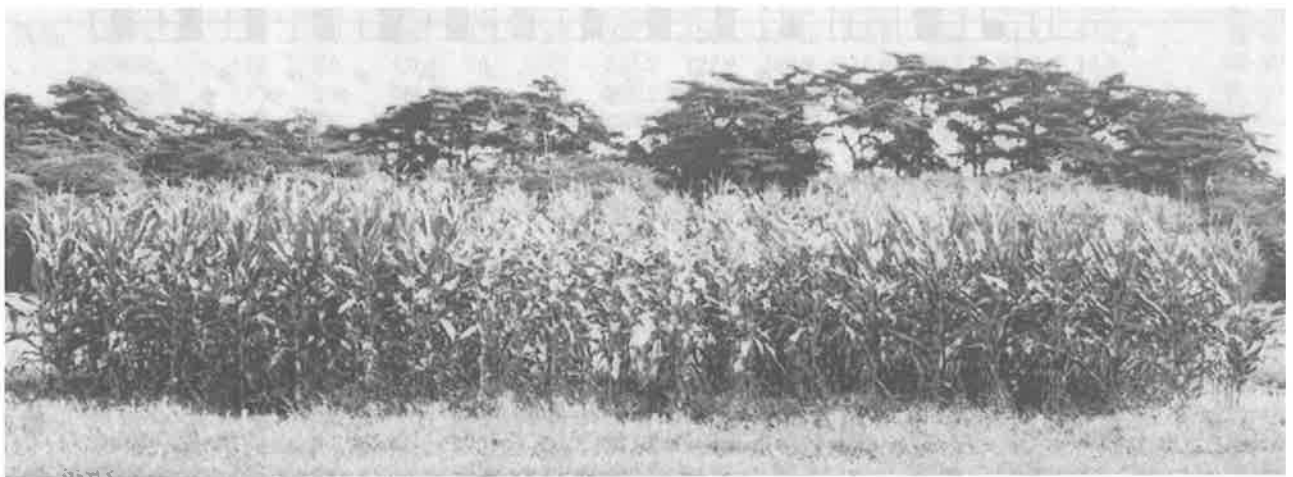
#### 平成14年産飼料用トウモロコシ調査

播種月日	品種	絹糸抽出期	桿長(cm)	最終葉齢	着穂高(cm)	黄熟期	乾物重(kg/10a)			乾物重前年対比(%)		
							実	茎葉	全体	実	茎葉	全体
4月下旬	32K61	7月	273	21.1	121	8月	1154	859	2013	98	87	93
	33G26	中旬	282	20.6	141	下旬	1104	845	1949	96	80	88
	36A43		235	19.1	119		1060	661	1721	91	78	86
5月中旬	32K61	7月	299	20.5	129	9月	1009	782	1791	81	58	69
	33G26	下旬	303	20.0	131	月上旬	863	606	1469	70	44	57
	36A43		261	18.7	113		914	706	1620	76	68	72
6月上旬	32K61	8月	312	20.5	131	9月	781	867	1648	74	79	77
	33G26	月上旬	312	19.3	135	下旬	873	667	1540	89	76	83
	36A43		279	18.4	123		746	418	1164	86	59	74

※品種ごとのRM(相対熟度):32K61(122)、33G26(118)、36A43(105)

※絹糸抽出期・黄熟期はRMが小さいものほど早い。

(草地飼料研究室 小野 晃一)



トウモロコシ気象感応試験ほ場

酪農試験場だより No106 平成15年1月27日発行  
 栃木県酪農試験場 〒329-2747 西那須野町千本松298  
 TEL 0287-36-0280 FAX 0287-36-0516